

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名 こどもプラス武雄教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	R5年度8月より施設移転を行い（新築戸建て）以前より療育室も格段に広がっている。児童からも保護者からも非常に好評である。 ・活動室が広いため、色々な運動ができる。相談室など必要なスペースが確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	職員の数はきちんとした配置数で行っている。児童指導員の配置も適切である。。男児が多い事もあり、同性介助の配慮に向けて男性職員の確保に努めたい。
	3	事業所の設備等について、安全を配慮した措置・バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	安全性には十分に配慮出来ている。新しくなった教室ではバリアフリー化になっている。また安全に過ごせるような措置を行っている。・室内はほぼバリアフリーだが玄関は段差あり。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	ミーティングを毎月最低2回行い、問題解決や業務改善に努めている。毎日必ずその日の活動などについて、職員みんなで振り返り等を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	定期的に行い、業務改善に努めている。アンケート調査等は定期的に行い、業務改善に役立てている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	自己評価・保護者アンケートとともに集計後に会社全体のホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	2	改善点などは見直しを行い、働きやすい環境作りに努めている。評価結果を業務改善に繋がるように努めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	研修は受講している。職員で情報共有し、研修は多く参加している。外部研修を行う機会がある時は参加し、スタッフで共有し、支援に生かしている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者との面談や聞き取りを最低半年に一度行い、ニーズに合わせて計画の見直しを行っている。アセスメントを行い、個人面談個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	知能検査や発達検査等の数値化されるツールは使用していないが、個々の状況に応じたアセスメントを行っている。個々の状況に応じたアセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	活動別に役割を決め、担当者を中心に話し合い、児童が楽しめるプログラム作りへ取り組んでいる。毎日職員でミーティングを行っている。児童の年齢、特性に合わせ、プログラムを提案している。イベント活動も行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	話し合いを何回も行い、工夫をしている。利用児童に必要な支援を行っている。児童に合わせたプログラムを作成して、マンネリ化しないよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	休日は主に楽しめるイベントを計画しているが、長期休みなどは生活リズムが崩れないように遊びと学習の時間等を区別し、メリハリをつけている。それぞれに合わせ、プログラム内容を考えている。室内以外のお出かけ等、イベントを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	児童の性格や特性に合わせ計画を作成している。個別や小集団活動を取り入れ、長所を伸ばせるような事を増やす為、色々工夫を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	毎朝必ず申し送りをし、振り返りと確認を行っている。パート職員に関しては午後出勤後に管理者が本日の予定や午前中の出来事を伝えている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	当日の振り返りは行い、情報交換・共有を行っている。また休みのスタッフには翌日直接伝えるか資料作成し、後日確認してもらう。日々の出来事、気になる事等話し合い、対処方法を検討している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	ケース記録に残し、些細な事でも職員が承知できるよう、話し合いを行っている。日々の記録は必ず取り、支援に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	半年に一度のペースでモニタリングを行い、職員間で支援会議も行い、計画見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1	0	障がいの有無に関係なく自分らしく過ごし自立できるよう職員同士協力し合い、支援に取り組んでいる。自立支援、地域交流、長期休暇等の支援を集団、個別で行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	・児童発達支援管理責任者が中心となり参加しているが、状況の応じて職員皆で参加する場合もある。また、現場支援員からも1人は同席するように心掛けている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	0	時間割表の確認を中心に時間や行事を把握しているが、その他学校や保護者へ直接確認する事も多い。支援学校では情報共有出来ているが、地域の小中学校とも担任の先生を通してもっと情報共有していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	2	現状として医療的ケアが必要な児童の利用は無いが、今後受け入れ体制が整えば、対応したい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	必要に応じて情報提供の依頼を行っている。知り得た情報は職員間で共有し、児童への理解や支援に繋げている全部ではないがこども園、保育所、幼稚園、発達支援事業所を訪問し、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	2	現状として卒業生はいないが、提供を求められる場合は対応する。児童本人が安定して過ごせるように卒業後も協力は厭わない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	情報交換や共有を行い、児童の適切な支援に向けて協力をしている。支援会議の際は専門機関との話し合いが行われている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	同グループ内で教室同士の交流は比較的頻繁に行われている。外出先で他者との交流を行う事もある。児童館を時々利用し、交流している。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	2	年に一度開催されており、出席するようにしている。協議会などの情報を持って取り入れ、参加していきたいと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	連絡帳を活用し、日々の様子を伝えている。送迎時にも情報共有している。送迎時に毎回利用児童の様子を伝えている。保護者の要望や相談も話しやすいよう会話を大切にしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	保護者と連携した支援を行う為、子供への接し方を共有できるように話しをしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時に資料を基に説明を行っている。その後も質問等あれば、電話やメールにて対応している。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	必要に応じて面談を行い、相談出来る場面を作っている。その都度、相談には対応している。相談に応じた支援を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	4	保護者同士連携を取りたい保護者もいるが、保護者同士関わりたくない保護者も多い。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情窓口・担当者も設けている。苦情があった際には迅速に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	毎月必ず教室たよりを作成し、保護者や関係機関へ配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	記入済みの同意書は個別ファイルに入れ、鍵付きの書庫にて保管し漏洩防止に努めている。破棄書類はシュレッダーを使っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	発語が聞き取りにくい場合やろう者に対しては、筆談や手話を用いてコミュニケーションを図っている。児童に合ったコミュニケーション方法を話し合い、実践している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	0	・事業所内のイベントに地域の方を招待する事は無いが、近隣の施設のイベントなどは参加させてもらい交流を図っている。先日はハロウィンパーティーを行った際、近所との関わりを持たせた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	マニュアルを作成し職員には周知し、保護者には契約時に説明し、その後は常時開示出来るようになっている。全てにおいてのマニュアルを作成し、研修を必ず行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	定期的な行事として、避難訓練を取り入れて行っている。避難訓練は定期的に行っている。児童達にも分かりやすく説明をし、ビデオや紙芝居など利用している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	事業所での定期的な研修に加え、会社全体として虐待防止委員会を開催している。各教室の管理者が委員となり、研修後は教室スタッフに周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	・現状、身体拘束が必要な児童はいない。虐待防止委員会を定期的に開催し、その場で身体拘束についての研修も行っている。同時に各教室内でも身体拘束に関する研修を行い、職員の理解を深めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	・アセスメントを行う事で、その様な場合について保護者とも相談出来ている。契約時にアレルギーの有無を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	事例が起こった際はスタッフ間で情報交換を行い、文章も作成し、常時開示出来るようにしている。毎日の支援でヒヤリハット事例が出た場合には、職員間で共有し報告書を作成している。